

# 混迷の日本政治

政策研究大学院大学教授

竹たけ中なか治はる堅かた

- \*首相が指導力を発揮できない訳
- \*小選挙区で強まった党執行部の力
- \*なぜ官邸主導がうまくいかないか
- \*内閣官房のあり方
- \*ままたらぬ政党意思決定
- \*高速道路無料化をめぐるトタバタ
- \*民主党の難問「内閣・与党一元化」
- \*議院内閣制のものと参議院
- \*ねじれをどう乗り越えていくか
- \*政治家の処遇向上も大事



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は政策研究大学院大学の竹中治堅先生においでいただきました。竹中さんにはもう何度も講演いただきましたが、政治がこんな状況ではお話しただくのが申し訳ないような気がないでもありません。『参議院とは何か』『首相支配』と、とてもいい本を書きになっていますが、次にどんな本を書かれるか、参議院も大事だけれども衆議院も問題だとおっしゃっていますので、今度はそっちのほうの話になるかと思えます。

政策研究大学院大学は普通の大学生相手ではなく、企業人とか、官僚の人たちとか、そういう大学院生を相手に授業をされています。それでは竹中さん、よろしくお願いたします。

（拍手）

竹中 ご紹介いただきました竹中でございます。今日はお招きいただきましてありがとうございます。さいます。

前回は2年半ほど前にお招きいただきました、そのときも首相がころころ代わるという話をしたかと思うのですが、その後も事態はまるで変わっておりません。前回、2009年のときは麻生さんでした。その後、もうすでに3人目の首相を迎えているというのが現状です。2010年を除けば毎年9月に首相が代わる。そういうことが4回ほど繰り返されているということ、今年はどうなるのでしょうか。あまり代わってほしくないと個人的には思っているのですが、これも。